

しなののうた

刈り入れの済みし田んぼに稲雀  
声さわがしく落ち穂つつきぬ

l.MI

杉田小百合

しなののうた

稲雀ざわめく一団  
茜さす夕暮れせまる森に消えゆく

杉田小百合



しなののうた

まん丸の月に兎が餅つくとロマンに満ちる幼き日あり



杉田小百合

しなののうた

いく秋の冴えゆく野分ひとときわに寄する年波身に染み入りぬ

杉田小百合



しなののうた

道の辺に賑わいて咲く野紺菊  
心の襞を潤しくるる



杉田小百合